

お金の使い道、その3



というわけで、予想通りというか期待にたがわずというか、世界中がアメリカ合衆国大統領に振り回される2025年となっている。いったいつまでこの状態が続くのであろうか。COVID-19のパンデミックのときにも「いったいつまで」と思ったものである。しかしながら、かの御仁には任期というものがあるはずである。

多くの賛同が得られると思うが、かの御仁がこれまでやってきた事やこれからやろうとしている事は、“Make America Great Again”を逆走させるものである。大学をリベラル偏向と攻撃し、反ユダヤ主義や反DEIへの違反などを理由に助成金を差し止めてきた。また、アメリカの大学の研究開発費の55%は連邦政府からの支出であり、米政府効率化省(DOGE)が進める政府機関への支出削減は、世界をリードしてきたアメリカの科学研究の基礎を脅かすことに直結する。これまでアメリカは圧倒的な研究開発力で他国に対する優

位性を維持してきた。潤沢な研究開発費が世界から優秀な人材を引き寄せてきたが、科学研究費の削減で今度はアメリカからの頭脳流出も起こり得るであろう。また、研究費の削減は基礎研究の裾野を狭めることとなり、その結果生み出されるイノベーションが減ったり、時期が遅くなったりする可能性がある。

わが国は、今こそ断固として科学研究費を増額し、世界中から優れた人材を呼び込む、手薄になっている基礎研究の充実を図る、などの施策を積極的に行わなければならない。かの御仁が、アメリカとの科学力/研究開発力の差を縮める好機をもたらしてくれているのだから。

自動車保険・火災保険・交通事故傷害保険
 医師賠償責任保険・所得補償保険・傷害保険ほか

あなたにしあわせをつなぐ

損害保険ジャパン株式会社 代理店
 共栄火災海上保険株式会社 代理店
山福株式会社
 TEL 083-922-2551